

令和5年度 第2回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：令和6年2月5日（火）

○場 所：役場4F第3第4委員会室

○出席者：委員計12人、町事務局等20人

○協議内容と主な意見等

- ・「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要及び昨年度までの取組状況、令和4年度の数値目標の評価、各種推進施策の進捗状況、次期計画の改定について、委員から以下のようなご意見をいただきました。

●令和4年度の数値目標に対する評価について（KPI：重要業績評価指標）

- ・離農者が所有するハウスの活用について、農林水産省の補助制度等も踏まえて検討した方が良い。

●今後の人口減少対策について

- ・幸田町の人口はこれまで増加傾向にあったが、数値の推移を見ると令和3年をピークに減少へ転じた可能性があるため、そうした状況を踏まえて第3期計画を策定したり施策を考えたりした方が良い。
- ・人口を増やすためには出生数を上げる必要がある。第3子が安心して産める取組は展開されているが、子育て世帯への経済支援も重要である。
- ・耕作放棄地が景観を阻害しているが、荒れた景観の場所へ転入しようと思う人はいないため、対策した方が良い。

●推進施策の取組状況について

- ・ロケツーリズムを推進するにあたりホームページを新たに作成することだが、そこにロケ地マップを掲載することで、町内のどの場所に注目が集まっているかを町民は知ることができると思う。
- ・新たに整備する児童館は、総合戦略で目指している姿を踏まえたコンセプトとしてもらいたい。

●幸田町のデジタルに関する取組について

- ・幸田町DX推進方針は、内容をすぐに理解できる計画ではないため、町民に対してもっと周知すべきである。
- ・デジタルに関する取組を進める上では、スマートフォンを所持していない人が取り残されるような状況がないようにしてほしい。
- ・財政面も考慮した上で、取組の実施計画を立てて事業を進めた方が良い。

●今後の計画改定について

- ・働く人を確保するための方策が盛り込まれると良い。
- ・空き店舗を活用した多文化共生の取組を行っているため、KPIとして設定して事業の効果を測った方が良い。
- ・子育て支援と合わせた女性の就労支援に関する内容が盛り込まれると良い。

以上